

## 2016年度事業報告書

(2016年4月1日～2017年3月31日)

### 1. 事業の状況

#### (1) 競技規則の制定

国際競技規則の変更に伴う国内競技規則の改定・通知を実施した。

#### (2) 普及促進、指導者の養成

マスターズ水泳の指導者・競技役員およびスイマーのための講習会を東京・愛知・大阪の3会場において開催した。

#### (3) 競技会の開催

##### ① 日本マスターズ水泳短水路大会

4月2日より5月29日までの期間、全国27会場にて開催した。

参加状況 24,947人 45,215種目

##### ② 日本マスターズ水泳選手権大会（ジャパンマスターズ2016）

7月14日より18日までの期間、千葉県国際総合水泳場にて開催した。

参加状況 6,115人 11,013種目

##### ③ ウーマンズ・マスターズ水泳競技大会（ウーマンズ・スイム・フェスティバル2016）

10月1日より2日までの期間、千葉県国際総合水泳場にて開催した。

参加状況 2,787人 4,067種目 イベント参加者629名

##### ④ 日本マスターズ水泳長距離大会

10月30日、愛知・口論義運動公園屋内プール ならびに

11月5日より6日までの期間、町田市立室内プールにて開催した。

参加状況 愛知会場 186人 東京会場 498人

##### ⑤ 日本マスターズ水泳スプリント選手権大会（ジャパンマスターズスプリント2016）

11月26日より27日までの期間、千葉県国際総合水泳場にて開催した。

参加状況 2,980人 5,729種目

#### (4) 地域大会の奨励指導

当協会で公認するマスターズ大会のうち、15会場へ大会運営の指導を行った。

#### (5) 競技会および記録の公認

国内102大会、海外2大会の記録を公認した。

また大会での記録144,133件を公認記録として認めた。

#### (6) 国際大会の開催

本年度の開催はなかった。

(7) 日本記録の公認および世界記録の公認申請

公認した記録のうち、世界記録を突破した記録54件、日本新記録樹立429件であった。世界記録を突破した記録は公益財団法人日本水泳連盟を通じ国際水泳連盟（FINA）に公認申請を行った。

(8) オフィシャルキャラクターの制定

オフィシャルキャラクターの公募事業を行い「JAMBOW（じゃんぼう）」を制定した。また必要な権利確保を行った。

(9) 機関誌および刊行物

- ① マスターズニュース（会報）を年3回発行し、登録チームならびに関係団体へ配布した。なお、今年度より3月発行分を4月発行に変更した。
- ② 年間の公認記録を集計し「50傑ランキング」を刊行した。
- ③ 「マスターズスイマーのためのドライランドトレーニング」（DVD）を販売した。

(10) ドライランドトレーニングの普及

日本水泳トレーナー会議の協力により、ドライランドトレーニングならびに個別コンディショニングを、主催大会8会場で実施した。またDVDを販売した。

(11) 国内外の水泳関係団体との連携協力

- ① 国外公認大会への参加者に対する日本のマスターズ水泳の登録者であることの登録証明書23枚を発行した。
- ② 公益財団法人日本水泳連盟への加盟を継続した。
- ③ 公益財団法人日本水泳連盟、一般社団法人日本スイミングクラブ協会および日本障がい者水協会と共同して水泳の日2016を開催した。
- ④ 一般社団法人日本スイミングクラブ協会主催マスターズ水泳大会の公認並びに協力を行った。

(12) 登録

2016年登録 チーム登録 3,053件、個人登録 42,010人であった。  
(100歳登録者の精査を行い、活動実態に合わせた登録数とした。)

(13) その他

大会エントリーシステムの稼働を開始し、約7割の利用となった。

(14) 公益法人制度改革に伴う手続きの経過

一般社団法人へ移行	2012年4月 1日
旧法人決算	2012年3月31日
公益目的財産額の確定	2012年6月28日
公益目的財産額（当初）	327,906,055円
2015年度末公益目的財産額	82,511,904円
2016年度公益目的支出額	57,484,328円
2016年度末公益目的財産額	25,027,576円

以上